

2026年度第2学期山梨学習センターゼミ				
講師名	開催 予定日	テーマ	ゼミ概要	
詳細		ゼミの進め方	受講生へのメッセージ及び用意するもの	
村松 俊夫 (センター所長) 【曜日】 第2水曜日 【定員】 5名 【時間】 13:30-15:00 【会場】 会議室	① 10月14日	「等高重心立体」のユニークな世界 — “転がり”の幾何学 —	様々な球技のボール、車のタイヤ、自転車の車輪。身の回りには、遊びから実用品まで、様々な転がるものがあります。「球」や「円」を基本とした形態は、直感的に“転がる”と判断できますが、一見しただけではスムーズに転がるとは思えない形態も存在します。これらの立体の動きを、演習を通して実体験するとともに、その幾何学的原理を学びます。	
	② 11月11日			
	③ 12月9日	「スフェリコン」「オロイド」「ヘキサスフェリコン」「テトラスフェリコン」など、面白い動きをしながら転がっていく不思議な形態があります。「等高重心立体」と呼ばれるこれらの立体を、もっとも原理が簡単なものから少し複雑なものまで、順次紙や針金を使って制作し、そのユニークな動きの世界を体験していきます。	特段の予備知識などは必要ありません。ただし、軽い手作業が伴います。紙や針金などの工作材料、ハサミ・のり・ペンチなどの道具類は、学習センターに用意してあるものを使用します。また、参考資料等は講師側で用意し、配布します。	
	④ 1月13日			
	⑤ 2月10日			
	⑥ 3月10日			
大隅 清陽 (山梨大学教授) 【曜日】 第4金曜日 【定員】 5名 【時間】 10:40～12:10 【会場】 会議室	① 10月23日	『古事記』を読む	現存する日本最古の書物である『古事記』をテキストとして、日本の文化と社会について考えます。今から1300年前に成立したこの古典を読むためには、歴史や文学だけでなく、人類学、宗教学、民俗学、神話学、言語学など、さまざまな学問の成果が必要です。古典を読む楽しみを体験することに加え、学問の広がりと深さに触れてもらいたいと思います。	
	② 11月27日			
	③ 12月25日	今学期は『古事記』中巻の部分を読みます。初回にガイダンスを行った後は、参加者で毎回の分担を決めてテキストを輪読し、その内容について質疑応答をしながらゼミを進めます。全員が前もってテキストを読んでくることが前提です。	角川書店編『ビギナーズ・クラシックス日本の古典 古事記』(角川ソフィア文庫、税別720円)をテキストとしますので、各自で購入してください。原文だけでなく、わかりやすい現代語訳も載っていますので、古文の知識はほとんど必要ありません。ただし、次回に読む箇所(毎回15～20ページ程度を予定)を事前に読んできてください。	
	④ 1月22日			
	⑤ 2月26日			
	⑥ 3月26日			
大山 拓次 (山梨大学教授) 【曜日】 第4水曜日 【定員】 5名 【時間】 10:40-12:10 【会場】 実習室(※単位認定期間中は「会議室」)	① 10月28日	タンパク質構造入門	固有の機能を発揮することで、私達はようやく健康に生きることが出来ます。タンパク質は原子レベルで設計された構造を持っています。構造に基づく機能の仕組みを知れば、生命に対する考え方が今までとは大きく変わるかもしれません。	
	② 11月25日			
	③ 12月23日	地上の生物に命を吹き込んでいる様々なタンパク質分子について学んでいただきます。前半は、講師がこれまでに出会ったユニークな構造を持つタンパク質を紹介します。後半では、受講者の皆様それぞれが興味を持つタンパク質について、構造と機能の相関を議論したいと思います。		
	④ 1月27日			
	⑤ 2月24日		生化学の予備知識があれば、より深く理解していただけますが、事前知識が少なくても、授業を通して理解していただけるような内容をご提供できればと考えています。	
	⑥ 3月24日			
岡松 恵 (山梨大学准教授) 【曜日】 第1水曜日 もしくは 第2水曜日 【定員】 5名 【時間】 10:40-12:10 【会場】 岡松研究室	① 10月7日	文様に惹かれて	身の回りに残る昔の文様を、文化史研究の手法を用いて調べてみましょう。由来や表現など、様々な角度からじっくり調べてみることで、その文様の持つおもしろさや魅力に改めて気づかされることでしょうか。また昔の日本人の美意識や心情に触れることができるかもしれません。	
	② 11月4日			
	③ 12月9日	受講生の皆様に、ご自身の惹かれた”日本の文様”を一つ紹介していただくことから、ゼミがスタートします。その文様について、皆で自由にディスカッションし、そこで得たヒントを糧にしながらご自身のペースで調査や思索を進めてゆきます。最終回ではそれらをまとめて披露しましょう。		
	④ 1月13日			
	⑤ 2月10日			
	⑥ 3月10日		特段の予備知識は必要ありません。調査では、例えば看板や包装紙など、ご自身が身の回りで目にしたものや、書籍などからその文様を探していただきます。教員の文様全集や着物の図録なども、ぜひご覧になってください。	
菊地 淑人 (山梨大学准教授) 【曜日】 第2木曜日 【定員】 5名 【時間】 10:00～11:30 【会場】 会議室	① 10月8日	地域資源と観光／まちづくり	私たちの身近にはさまざまな地域資源(文化(文化財)、自然、景観など)があります。その価値や魅力は何なのでしょう。また、それらは観光やまちづくりにどのように役立つのでしょうか。事例を通して、日々の暮らしのなかの地域資源の役割を考えていきましょう。	
	② 11月12日			
	③ 12月10日	参加者の皆さんに、毎回、身近な地域資源について興味をもったトピックなどを話題提供してもらい(適宜、教員も話題を提供します)、それを踏まえて地域資源の価値、魅力とそれを活かした観光地づくり・地域づくりなどについてディスカッションを行います。		
	④ 1月14日			
	⑤ 2月4日		事前の予備知識は不要です。小さな話題(気になったトピック、ニュース、調べたことなど)でもいいので、関心を共有いただければと思います。ディスカッションを通じて、地域の価値(魅力)やそれを活かしたまちづくりなどを見つめ直すきっかけになることを願っています。	
	⑥ 3月11日			
田中健史朗 (山梨大学准教授) 【曜日】 第3水曜日 もしくは 第4水曜日 【定員】 6名 【時間】 10:40-12:10 【会場】 会議室	① 10月21日	人の「こころ」(心理)について考える	人の「こころ」に関心を持ち、その心理を掘り下げ、本質的な問題や課題が何であるのかについて理解することを目指します。また、支援者として支援する方法を獲得することを目指します。	
	② 11月25日			
	③ 12月16日	各回で取り上げるテーマを決め、そのテーマについて各自事前学習を行っていただきます。ゼミでは各自の事前学習をもとに討議を行います。		
	④ 1月20日			
	⑤ 2月24日		取り上げるテーマについて事前学習が必要です。事前学習の仕方について第1回ゼミで説明します。	
	⑥ 3月24日			
鳥山 孝司 (山梨大学准教授) 【曜日】 第3木曜日 【定員】 6名 【時間】 13:30-15:00 【会場】 実習室(※単位認定期間中は「会議室」)	① 10月15日	走るを科学する	速く、長く走れる走り方は？怪我をしない走り方は？運動力学、生理学などの観点からこれらについて考えていきます。単純な運動ですが、奥深さに触れてみませんか？	
	② 11月19日			
	③ 12月17日	前半は、走るとは何か？その正しい動きは？走りの練習方法はといったものを紹介し、その基本的な動き作りに取り組んでいきます。実際に走るまでの運動はしません。後半は、受講者が実際に取り組むための練習のプランニングについて考えていきます。		
	④ 1月21日			
	⑤ 2月18日		これから運動を始めたいという方から、大会で結果を出したいという方までの広い範囲を扱いたいと思います。歩き方などの身体の使い方を確認する運動もしたいので、動きやすい格好での参加が望ましいです。	
	⑥ 3月18日			

※ 1. 第一週とは、その月の1日から土曜までの間